

筑豊小児科医会会報

Vol. 225 2025. 10



Contents

- ◇ トピックス
- ◇ 異動のお知らせ
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2025年7月》
- ◇ 外来診療担当表

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

トピックス

臨床心理室 ～NICUでの支援について～

○私たちの使命・モットー

「チーム医療への貢献」「子どもたちの育ちを支える」をモットーに、臨床心理室では小児への支援に携わっています。子どもたちが、より健やかに、自分らしくすごせるようになることを願い、遊戯療法やカウンセリングなどの心理面接、知能（発達）検査等でのアセスメント、NICU でのご家族への支援に力を注いでいます。

○NICUでの支援 ～重なり合い・つながり合う～

当院新生児集中治療室（NICU）では、ご入院された赤ちゃんとそのご家族に対して、全ての職種が心理的なサポートを大切にしています。心理士も、面会中のご家族にそっとお声かけし関わらせて頂いています。ご家族が安心して治療や退院後の生活に向かえるように、医師や看護師、医療ソーシャルワーカーなどのコメディカルスタッフと協働して関わり、病状説明に同席することもあります。

重症度の高い赤ちゃんの場合、当然ながらご家族のご心配や不安は強いものですが、ごく短期の入院であっても、赤ちゃんが離れ離れになる不安やお辛さもあります。ついさっきまでご自分と一体であった赤ちゃんが「連れて行かれてしまう」ことが耐えがたく感じられる方もいらっしゃいますし、保育器の中の赤ちゃんを我が子と感じられないことも生じます。

赤ちゃんの誕生は、ご家族にとって非常に大きな出来事。NICU は治療の場であり成長を支える場でもあります。NICU という空間が、赤ちゃんとそのご家族を包み、暖かく穏やかな場であるよう、様々な専門性をもったスタッフが、重なり合いつながり合いながらサポートしています。（臨床心理室 竹下明子）

飯塚病院 臨床心理室

- ・常勤 8 名の臨床心理士/公認心理師が在籍。
- ・全診療科から年間約 3500 件の依頼を受け対応。
- ・カウンセリングや心理検査・知能（発達）検査の他、身体疾患で入院中の方への心理サポート等、チーム医療の一翼を担う。



異動のお知らせ

●飯塚病院 小児科 医長代理 ささぐり 笹栗 まこと 誠

このたび、医局人事により10月から久留米大学病院へ異動となりました。笹栗です。2023年12月に飯塚病院に赴任してから、わずか1年9か月という短い期間でしたが、多くの症例を経験させていただき、飯塚病院の先生方、筑豊小児科医会の先生方、心より感謝申し上げます。

飯塚は笹栗のルーツであることもあり、飯塚病院での勤務は大変充実したものでした。

これからは大学でさらに成長できるよう一層努力してまいります。任期を終えた際には、ぜひ飯塚病院に戻ってきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



写真は今年の飯塚山笠で、小児科の先生と
笹栗は右から2番目

研修医のご紹介

●初期研修医1年目 むらかみ 村上 ゆうき 雄紀

飯塚病院初期研修医1年目の村上雄紀と申します。山口大学卒で、出身は山口県です。子どもは小さな大人ではないと耳にしており、小児科ならではの診療をしっかり学びたいと考えております。4週間という短い期間ではありますが少しでも患者さんやそのご家族に信頼して頂ける医師になれるよう努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

小児科関連勉強会のご案内

■第48回筑豊感染症懇話会（第371回 筑豊小児科医会勉強会）

●日 程：2025年10月23日（木）

●時 間：講演会 19:00～20:00

世話人会 20:00～

●形 式：ハイブリッド開催（Zoomによるオンライン配信）

●会 場：飯塚病院 北棟4階 多目的ホール

【講演】インフルエンザの予防と治療～経鼻ワクチンを含めて～

川崎医科大学 小児科学 特任教授 中野 貴司先生

*詳細は案内状をご確認ください

■11月の筑豊小児科医会勉強会は休会とさせていただきます。

少し前のことですが、8月22日～24日に福岡市で開催された日本子ども虐待医学会の学術集会に参加しました。この学会は、児童虐待が発生した際の診察・診断や、社会的対応についての発表が中心ですが、今回は虐待が起きる背景にある親御さんのさまざまな課題への支援についての発表が多い印象を受けました。特定妊婦さんへの産前産後サポート、トラウマや依存、自傷行為・自殺念慮への対応など、小児科医にとって新しい学びにあふれた学会でした。

私が虐待を受けている子どもたちに意識して関わるようになったのは、飯塚病院に赴任してからです。今も折に触れて思い出す、Aさんとの出会いがきっかけでした。Aさんは小柄で、きょうだいたちとは異なる養育を受け、十分な食事を与えられず、いつもお腹を空かせていました。本人の話の内容からネグレクトを受けていることは明らかで、学校の先生、自治体の関係者、児童相談所、医療スタッフなどがお互いに連携し話し合った結果、見守りを強化する方策が決まりました。本当に大切なのは親御さんへのアプローチであることは皆わかっていたのに、具体的な対応策を立てることはできませんでした。その後、最悪の事態は避けられましたが、Aさんは長い間苦しむことになり、今でも申し訳なく思っています。

あれから私も、今回の学会で盛んに議論された「虐待の背景にある親御さんの課題やその支援」について意識して学ぶようになりました。今なら、あのときとは違う関わり方ができると感じています。その関わりは決して特別なものではなく、医療者として当然持つべき「傾聴と共感の姿勢に根ざした対応」こそが、今の私の答えです。

当時の私は、ネグレクトを証明する医学的なエビデンスを示すことこそが医者のお務めだと錯覚していました。もしかすると、親御さんの粗探しをしていただけなのかもしれません。本当に必要だったのは、勇気を持って親御さんの話を聴き、思いに共感し、その上で親子関係やきょうだいを含めた家族関係を支援することだったのに…。私たち医療者は警察でも裁判官でもありません。どんな背景があろうとも、課題を抱える方に寄り添う支援者であるべきなのです。

文責：AI-CAP 大矢 崇志

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL：0948-88-8220（直通）FAX：0948-88-2806

Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

ネガティブ・ケイパビリティ (negative capability) という言葉をご存知ですか？ 僕は福岡市で開催された日本子ども虐待医学会のシンポジウムで精神科医の先生から教えて頂きました。イギリスの詩人ジョン・キーツが唱えた概念で、「不確実性や疑い、未知を許容する能力」を指します。答えがすぐに出ない状況に直面した時、結論を急がず、その曖昧さや不確かさに耐え、受け入れる力とも言われています。生きていれば、すぐに答えが出せない状況にぶつかることは少なくありません。そんな状況を受け入れ、焦ることなく、水面に浮かぶアヒル隊長のように、ひっくり返らず、ただゆらゆらと流れに身を任せる「漂う力、たゆたう力」とも呼べるかもしれません。

そういえば、先日 Pediatrics Note を冊子にした際、あとがきに僕はこんなことを書いていました。

—— 医療は本来、病気を治すことを目的としたサービスです。けれども近頃は、その医療だけでは解決できないさまざまな課題を抱えた子どもたちが、たくさん診察室にやってきます。治すことができないとなると、せつかく来てくれたのに、お別れになってしまう。どうしたらいいのか悩んだ末に、僕がたどり着いた答えが『治らなくていい』でした。

治らなくていい。今のままでいい。そんなふうを考えて子どもたちや親御さんの話を聴き、ともに「あでもない、こうでもない」と悩んだり、うれしいことがあればいっしょに喜んだりすることで、少しでも気持ちが楽になってくれたらいいなと思っています。本当はびっくりするくらい丈夫になる魔法が使えたらいいんですけど。——

さて、そんなパビった僕が今回おすすめする映画は「リンダリンダリンダ」の山下敦弘監督、向井康介脚本、そして前田敦子主演の「もらとりあむタマ子」です。23歳大卒無職実家住まいの坂井タマ子（前田敦子）は、のんびんだらりと食べて、寝て、漫画を読んで、テレビを見ては悪態をつき、注意をされたら逆ギレする生活を送っています。そんな彼女を優しく見守る父、秋から冬、そして春から夏へと緩やかに移りゆく季節が、彼女の心を穏やかに癒していく。ほっこりしつつも涙を誘う感動的な日常系の映画……ではありません。初めから終わりまで、キレ散らかす前田敦子を愛でつつ、作品にたゆたう滑稽な空気感に浸り、穏やかな気持ちに満たされる。ネガティブ・ケイパビリティに溢れた、疲れた時にも観ることができる、いい塩梅の優しい作品です。

【お知らせ】

これまでコラムで掲載してきた文章を「まとめて読みたい」とお声かけいただくことが何度かあり、このたび、ちょっと調子に乗って一冊の冊子にまとめてみました。もし「読んでみたい」という方がいらっしゃいましたら、以下のいずれかの方法でどうぞ。

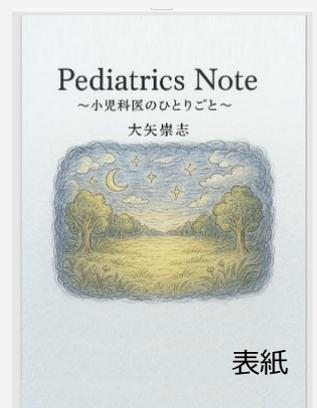
① メールでのご請求

下記のアドレスまで、「冊子希望」と件名に書いてご連絡ください。折り返し、PDF ファイルをお送りいたします。

✉ メールアドレス: tohyah1@aih-net.com

② ブログサイト「note」からダウンロード

note (<https://note.com/>) で「codomodoc」のアカウントを検索していただいても OK です。



飯塚病院 月間診療のまとめ 《2025年7月》

●入院患者数 127人 ●外来患者数 1,027人 ●救命救急センター受診者数 53人

●新生児センター入院患者数 11人 ●分娩件数 31件 ●手術件数 11件

●主要疾患数（退院患者数：117人）

痙攣及びてんかん	27	肺炎・気管支炎	17	低出生体重児	8
新生児呼吸障害・心血管障害	5	急性胃腸炎	3	喘息	1
急性上気道感染症	1	腸重積・腸閉塞	1	その他	54

●紹介件数（五十音順）

小児科：130件		小児外科：16件	
飯塚医師会検診検査センター	8	いいづかこども診療所	2
嘉麻赤十字病院		栗原小児科内科クリニック	
西園内科クリニック	7	田川市役所子育て支援課こども家庭センター	
松尾ファミリークリニック		泌尿器科C. U. クリニック	
平野医院	6	飯塚市役所 こども未来部 こども家庭課	
飯塚市立病院	5	尾上小児科医院	
こどもクリニックもりた		光陵パークサイドクリニック	
いいづかこども診療所	4	坂本医院	
穎田病院		社会保険田川病院	
ささきこどもクリニック		そらレディースクリニック	
ひじい小児科クリニック		雪竹医院	
宮嶋医院		吉國医院	

一般外来： 予約・紹介状必要		月	火	水	木	金
小児科	初診	神田 洋 嘉村拓朗 吉田浩一/ 安元和博(交代制)	坂口万里江 廣瀬彰子 大矢崇志/ 茂藤優司(交代制)	坂口万里江 廣瀬彰子	坂口万里江 大武瑞樹 莫根良太/ 末継智士(交代制)	岡松由記※/ 大矢崇志(交代制) 坂口万里江 田中ゆかり 嘉村拓朗/ 茂藤優司(交代制)
	再診	岡松由記※ 神田 洋 嘉村拓朗 吉田浩一/ 安元和博(交代制)	坂口万里江 廣瀬彰子 大矢崇志/ 茂藤優司(交代制)	岡松由記※ 坂口万里江 廣瀬彰子 田中ゆかり	岡松由記※ 坂口万里江 大武瑞樹 莫根良太/ 末継智士(交代制)	岡松由記※/ 大矢崇志(交代制) 坂口万里江 田中ゆかり 嘉村拓朗/ 茂藤優司(交代制)
小児外科	初診	近藤琢也※	-	近藤琢也※	-	近藤琢也※
	再診	近藤琢也※	-	近藤琢也※	-	近藤琢也※
専門外来：予約・紹介状必要						
新生児外来	-	神田 洋	-	-	-	-
神経発達外来	近藤里香子 大矢崇志	-	-	-	近藤里香子 大矢崇志	-
循環器外来	-	寺町陽三	平田悠一郎 (第2,4)	-	-	-
内分泌外来	-	-	西岡淳子 (第2)	-	八ツ賀秀一 (第1または第2) 西岡淳子 (第4)	
腎臓外来	-	荒木潤一郎 (不定期)	-	-	-	
血液内科外来	-	-	-	-	安藤昭和 (不定期：第4)	
アレルギー外来	-	担当医	担当医	-	-	
1ヶ月健診(金曜午後)	-	-	-	-	担当医	
福岡県予防接種 センター事業	-	-	-	担当医	-	

最新の情報は飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介

